

福祉なかじょう



長寿とクリスマスを祝う舞台で健康第一をアピールする、ずく楽校の生徒さん

長寿とクリスマスを祝う集い

12月10日中条老人福祉センターで120名の方に参加していただきました。

保育園・小中高生の歌声に会場は温かい雰囲気に包まれ、心和むひとときを過ごしました。帰りには参加者とハイタッチしてほっこりした時間でした。

今回は「中条笑ん劇団」を有志の皆様により旗揚げされた「お節介と助け合いは神ひとえ!」という、楽しくも、ためになる寸劇でした。笑い声とともに、「そうそう」「あるある」という声もあり、私生活をかいま見られたひとときでした。

お楽しみの昼食は前日から用意された漬け物、豚汁、お弁当、ケーキをおいしくいただきました。そしてサンタク

ロースからのプレゼントでは「何が入つてた?」「そつ

ちの方が良かつたよー」と、にぎやかに会話が飛び交って楽し

かつたですね。

次回も大勢のみなさんの参加をお待ちしています。



合併前の中条村社会福祉協議会は、住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくりを目標に、住民のみなさんや各機関と連携しながら地域福祉を推進していました。2008年、これからは、自分たちが住み続けたい地域を自分たちの手で力を合わせて創ることがより一層求められてくるということを考え、策定委員を中心に住民のみなさんの声を集めながら、第一次地域福祉活動計画を策定しました。

地域には多くの課題もあるけれど、良さもたくさん見つけました。どんなに福祉サービスが充実しても1人ひとりの思いを支えるには、身近な地域でもお互いに支え合う地域が大切と確認されたのです。そんな地盤がある中条地区。これからは、みんなのふるさとを守り未来につないでいくためにお互い様でやっていきましょう。

計画の三つの柱

●まもる

ここ中条でいつまでも安心して暮らすためには、まず健康でありたい。地域のお互い様の輪の中で、困りごとや心配事を解消しながら、自分らしく暮らしたい。そんな想いを形にしたのが「まもる」の6つの事業です。

地域たすけあい事業、配食サービス、なまちゃんは、暮らしの中の「困ったな」をお手伝いするしくみです。中条ずく楽校、健康づくりは、自分の身体づくりと共に、その場にかけ、人と会う事で脳の健康づくりにつながっています。又、災害時の支え合いは、1人ひとりのつながりや助け合いがとても

大事になります。

「ここで安心して暮らすこと」を基盤にすること。それが「まもる」であり、「つくる、つなぐ」につながっていくのだと思います。

●つくる

「つくる」は第二次地域福祉計画の6つの基本目標にたびたび出て来るキーワードの、色々な場づくり、お互い様の関係づくり、地域づくりであったり、生きがいづくりや仲間づくりといった「創造」がテーマです。

いわゆる「モノ作り」ではありますんが、つくり出した先にある

「よろこび」「楽しみ」「生きがい」は共通のものかも知れません。

いくつかの事業は主催者、参加者の関係にありますか、どちらも楽しんだ先には、喜びも生きがいも感じられるのではないかでしょうか。

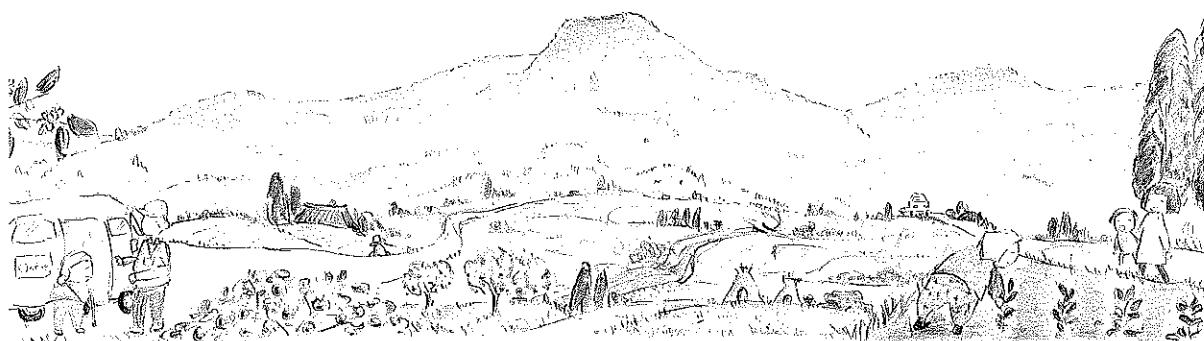
人々が集う事、出会う事・誘い合う事を続けることで、いつまでも「まめつたく」生きていくれる中条でありたいですね。

●つなぐ

中条では「まもる」「つくる」「つなぐ」のが普通に行われていたと思います。しかし、現代は人口も減り、地域・歴史、風土を「つなぐ」ことが難しい

第三次福祉推進計画を策定しました

思いが響く里づくり ～お互い様でやらずわえ～



状況です。もう一度中条を「まもる」ために、「つくる」を継続するために「つなぐ」ことが重要です。

私たちができること。子どもができること。地域を知り尽くしている諸先輩方ができること。みんなが「つなぐ」必要で、新しい人や、若い人たちが「つなぎ人」として、中条を盛り上げていけると考えています。

計画は福祉ではありますが、今後も楽しく、元気で、安心できる地域でいられるために、つなぐことを1人ひとりの個性で実践できると良いなど願っています。

策定委員会会議に参加して

策定委員の方の中から、3名様にご感想をいただきました。

▽未来の中条へ

今回、中条地区地域福祉活動計画の策定委員会に参加させて頂き、これからの中条地域の活性化と、どうしたら生きがいをもつて生活が出来るのかを一生懸命考えている事が伝わってきました。

地域の向上に私達みんなが、年齢を越えてこの取り組みに参加していけば、未来の中条が見えてくると思います。

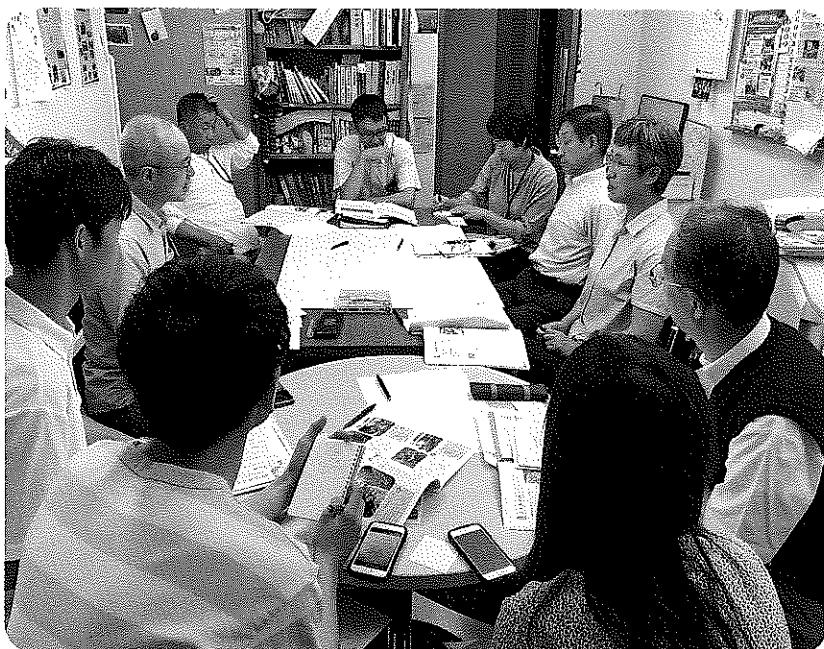
▽「まめつたく」過ごせますように

まもなく「地域福祉活動計画・支え合い活動計画」の策定作業が結びの時を迎えます。第一次計画から基本理念は同じで、「思いが響く里づくり／お互い様でやらずわえ／」としているところは、中条地区が目指す普遍的なものです。

平成22年市町村合併を機に、中条の地域福祉推進を真剣に考えてきた地域のみなさんの「ふるさと中条」に対する思いが、第一次計画、第二次計画と、このたびの策定による第三次計画に引き継がれているもの。また、「支え合い」「お互い様」の「地域づくり」に取り組んでいる住民自治協議会福祉関係者のご尽力の賜物で出来たものです。

私は、地域きらめき隊のミッショングの一つとして、短い間でしたが計画策定作業に携わってきました。作業を通じて、中条地区が「福祉の先進地」であることを再認識しましたし、大変誇りに感じているところです。策定委員のみなさんのお取組みに感謝することともに、地域のみなさんが「まめつたく」過ごされることを祈念いたします。

(健康福祉部会長 松本豊美)



福祉懇談会のもよ

まずは、一般的な感染症対策や健康管理を心がけてください。

今年度も9地区を回り、第3次地域福祉活動計画の話題を通して、日頃の活動に対する地区のみなさんのご意見を伺いました。

サロンの活動によって声かけや顔を作ることの大切さをあらためて思い起こしたり、配食や通院移送のサービスについての質問・提案や、親子・若者が輝く事業に対する期待の声が上がりました。

問い合わせ、「感染症予防するために注意することはありますか。心配な場合には、どのように対応すればよいですか？」より引用。（3月9日時点の内容）

具体的には、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒などを行い、できる限り混雑した場所を避けてください。また、十分な睡眠をとつていただくことも重要です。また、人込みの多い場所は避けてください。屋内でお互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間過ごすときはご注意下さい。

●大久保侑晟（おおくぼ ゆうせい）ちゃん
父：昌さん
母：佑美さん
平成31年3月4日生まれ



●高山翼希（たかやま つばき）ちゃん

令和元年11月15日生まれ



父：悠さん
母：紗弓さん



●新型コロナウイルスについて

いつも神さまに感謝しながら一緒に成長していくね。

周知のように、国内外で新型コロナウイルス感染が拡大しています。一般的な注意について、厚生労働省のホームページ（新型コロナウイルスに関するQ&Aへ一般の方向け）より引用します。

～メッセージ～
保健所、市役所等を装つて、個人情報を聞き出そうとしたり、悪意のある電子メールが来たりします。詐欺の情報に日頃から敏感にしておきましょう。個人情報を聞き出すような電話や、心当たりのないメールなどは無視をしましょう。



咳エチケットの一つで、上着の内側や袖で覆います。

なお、感染症学会から、不用意に口、目、鼻を触らないよう呼びかけられています。

また、誤った情報が流れ飛ぶこともあります。善

意で話を広めても、それが誤りなら結果としてデマになります。信頼性の不確かな情報に惑わされず、落ち着いて対応していただきたいと思います。

また、詐欺も増えていくようです。厚生労働省、

保健所、市役所等を装つて、個人情報を聞き出そ

うとしたり、悪意のある電子メールが来たりします。

詐欺の情報に日頃から敏感にしておきましょう。

個人情報を聞き出すような電話や、心当たりのない